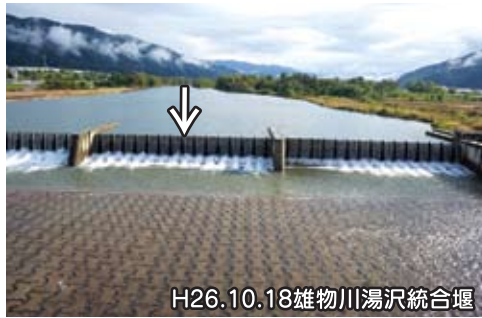


# 河川分野での活用

## 水面上からの目視確認

UAV撮影は高所からの確認に加え、水面上からの撮影も可能です。河岸状況の確認や河川横断構造物の確認など、船上巡視の代替え、それ以上の近接確認ができます。定期的に静止画や動画を撮影・備蓄することにより、経年変化の把握や、緊急時の把握など河川管理データとしても活用できます。



## 冬季積雪の箇所での確認

積雪地域の冬期では、積雪による進入障害により河川巡視に支障が生じます。冬期の地震や融雪洪水への対応等、積雪地域における冬期の河川巡視点検の効率化が図れます。



## 土木技術者の「鳥の目」

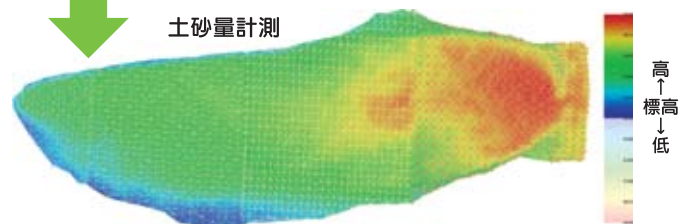
UAVは点検調査等に生かせることはもとより、土木技術者にとっての「鳥の目」になります。

現地踏査時に活用することにより、対象地の背後地や地形等、**全体像や周辺状況の把握**ができます。また、撮影画像は**各種説明資料**としても大いに活用できるほか、測量及び調査の**作業計画の検討**段階でも活用できます。

## 3次元画像解析技術との併用

UAV撮影画像をもとに3次元画像解析ソフトを活用すると、地形の3次元モデル化が可能であり、モデル化によって計測が可能となります。

画像解析では、植生のない裸地状態での河道内土砂の3次元モデル化は、精度よく再現されます。



株式会社

ウヌマ地域総研

TEL 018-863-5809 FAX 018-863-5022

お問い合わせ先 秋田本社 UAV担当